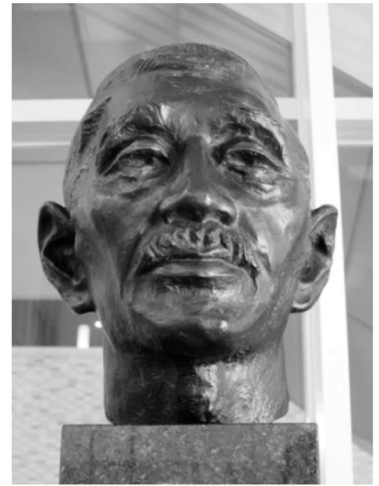


リーで展覧会をして頂ける機会があり、この像も出品していました。ところがそこに、高名な美術評論家が立ち寄って、「ああ 寺田寅彦だ 良く似ている」と呟くのを確かに聞きました。これは自信にもなりましたが、それも時間が経つうちに、少し甘さが残っているのではないか、もっと良いものは造れまいかと、写真をずっと眺めていました。そうしてひとつの結論が出ました。



友人、知人にことある度に、「寺田寅彦は どんな顔をしていたと思う」と、たずねてみましたが、明確に答える人は居ませんでした。只一人、友人が「私は 寺田寅彦のこの顔が好きで 携帯の待ち受け画面に入れちゅう」と画像を見せてくれました。それは私の思っていたものと同じものでした。

その写真は、昭和七年に北海道で中谷宇吉郎博士と写っているものです。寅彦 55 歳、死の三年前ですが、人生の全部が集約されているような顔に思えました。此れをもとに第四作目に取り掛かるなかで、銅像は、誰もがいつも写真と見比べて見るわけではありません。

厳密に似せることだけが目的ではなく、そこに寺田寅彦という人格が永遠に立つことが目的だと確信しました。そしてトレードマークの帽子も着せました、文学館に保管されている愛用ハットを写生させてもらい頭に載せると、納得のいく頭像になりました。

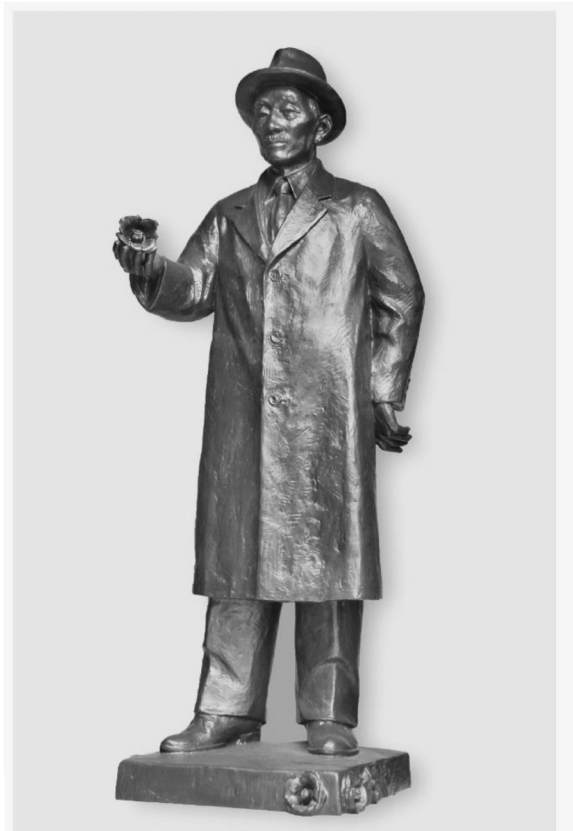
屋外の彫刻は、部屋に置かれるものや、展覧会場の作品を大きくしたものはいけません。奇をてらった肉付けや、つるつる撫でついたり、小手先の綾などでは、自然の外光には耐え得ないのです。大きな骨組みのある建築的構造、確かな面、そして像を支配する求心力が必要だと思います。

これらのことを長期にわたり追求した積りで、そして関係者の皆様の理解と賛同を頂き、寺田寅彦像を完成させることができましたことを感謝しています。



どうぞ愛され親しまれる像であって欲しい

(写真提供：中谷宇吉郎記念財団)



と願っています。

「寺田寅彦の銅像を建てる会」の皆様、「寺田寅彦記念館友の会」の皆様、応援協力くださった多くの皆様に、御礼を申し上げます。

### 関直彦様（お孫様 寺田寅彦の二女弥生様の二男）のインタビュー

「さんさんテレビ」

寺田寅彦は有名なわりに、残っている写真が非常に少ないです。目立つことが大変嫌いで、出来上がった銅像を見ているとひょうひょうとして森羅万象を探求する姿が表現されていて、これなら祖父から叱られることもないだろうと、安心しました。

「NHK 高知放送」

銅像は似ていると思います。「天災は忘れられた頃に来る」という祖父の心に命じて、日頃から命を守るように備えて一人でも多くの方が助かれば、オーテピアの銅像の意味も出て来ると思います。

### 展示会（7月23日（月）～7月31日（火））

展示物として、山田功副会長様所蔵の寺田寅彦の随筆集 10冊を展示させていただき、寺田寅彦がこだわった装幀を直に手に取って味わっていただく機会としました。初刷本から5刷の貴重な随筆集で、高価な布を用い、表紙の字配りにこだわり、版画の実物が挿入されているなど当時の出版物としては素晴らしい装幀に直に触れることができました。

そして、寺田寅彦記念館に所蔵されている資料をテーマごとにファイル化して展示をしました。

#### I 随筆集

冬彦集 5刷 ・ 藪柑子集 5刷 ・ 萬華鏡 初刷 ・ 続冬彦集 4刷 ・  
柿の種 3刷 ・ 物質と言葉 初刷 ・ 蒸発皿 初刷 ・ 觸媒 2刷 ・  
螢光板 初刷 ・ 橡の實 初刷

#### II ファイル集

1. 寺田寅彦の写真集
2. 寺田寅彦の初北海道
3. 寺田寅彦とゆかりのある人たち
4. 寺田寅彦が描いた作品集
5. 寺田寅彦記念館の変遷の写真集
6. 寺田寅彦記念館の植物 3部作その1 寺田寅彦邸跡の庭園樹
7. 寺田寅彦記念館の植物 3部作その2 寅彦随筆の草と花
8. 寺田寅彦記念館の植物 3部作その3 庭の植物 樹木 追加
9. 寺田寅彦の欧州留学 日記・書簡等
10. 寺田寅彦の欧州留学 絵はがき類

11. 寺田寅彦欧州留学滞在地 ゲッチンゲン・ベルリン
12. 蓄音器・ドンブラコ
13. 寺田寅彦 曙町の新居
14. 寺田寅彦の資料 野並亀治様所蔵
15. 寺田寅彦熊本第五高等学校時の資料（柏木潤様提供）
16. 平田森三と寺田寅彦の資料（兵藤申一氏寄贈）
17. 私の好きな寺田寅彦の随筆ベスト・ワン
18. 私の好きな寺田寅彦の言葉

### Ⅲ 動画

19. DVD「寺田寅彦」

寺田寅彦記念館を主として撮影され、紀伊國屋書店評伝シリーズとして発売されたものを視聴していただきました。撮影時の記録写真も添えました。

### Ⅳ 似顔絵

20. 寺田寅彦の似顔絵（高知市立江ノ口小学校 5年生児童作成）

寺田寅彦が自画像を数枚描いていることから、児童が寺田寅彦をどのように描くかを写真の資料を見ながら描いてもらいました。



展示場（寺田寅彦記念館）の様子



母屋での随筆集・ファイル



寺田寅彦のDVD・欧州留学関係



似顔絵コーナー